

第45回ふるさと講座

講師 **中島 清** さん

下呂市文化協会連絡協議会会長
加藤素毛記念館管理者

- ・加藤素毛は、文政八年(1825)下原郷十七ヶ村の兼帯名 主を勤める加藤三郎右衛門雅文の次男として生まれた。
- ・1860年の遣米使節に随行して世界一周をした加藤素毛一介の無名の飛驒人なぜ加わることができたのか。又その時代はどんな時代であったか。
- ・開国、尊王、攘夷、佐幕と入り混じった混迷の時代、国学を学んでいた素毛は当然尊王攘夷であるはずが、どうして開明的な考えに変わっていったのか。
- ・幕府は遣米使節をひた隠し、また明治新政府も積極的に公表せず護衛であった咸臨丸だけがクローズアップされたのはなぜか。そのため今だに遣米使節は咸臨丸でいったという誤解が生じている。
- ・遣米使節の果たした功績と意義
- ・加藤素毛の果たした功績

平成19年11月25日(日)

時間 午後1時30分より

会場 下呂市民会館
入場無料

どなたでもお気軽にご来場ください

お問い合わせ

0576-25-2252
(下呂教育室内 財団事務局)

主催
後援

(財)下呂ふるさと文化財団
下呂市文化協会

加藤素毛

の生涯とその時代

